

監査公表第5号

地方自治法第199条第1項及び第4項の規定により実施した定期監査の結果に関する報告を決定したので、同条第9項の規定に基づきこれを公表します。

令和2年(2020年)2月17日

城陽市監査委員 川村 和久

城陽市監査委員 上原 敏

令和元年度(2019年度)定期監査の結果報告について

地方自治法第199条第1項及び第4項の規定による令和元年度(2019年度)定期監査を実施したので、同条第9項の規定により、その結果に関する報告を次のとおり提出します。

なお当該監査の結果に基づき措置を講じたときは、地方自治法第199条第12項の規定により、その旨を監査委員まで速やかにご報告願います。

第1 監査の種類

地方自治法第199条第1項及び第4項の規定による定期監査

第2 監査の対象

平成31年(2019年)4月から令和元年(2019年)7月までに執行された財務に関する事務の執行及び経営に係る事業の管理(必要に応じて期間前の事務事業を含む)

平成29年度(2017年度)から令和元年度(2019年度)までにおける市の事務の執行(行政監査を兼ねる)

第3 監査の実施期間

令和元年(2019年)7月31日から令和2年(2020年)2月7日まで

第4 監査の対象部局

- I まちづくり活性部(東部丘陵整備課、商工観光課、農政課)
- II 都市整備部(都市政策課、管理課、土木課、営繕課)
- III 消防本部(総務課、予防課、警防課、救急課、久津川消防分署、青谷消防分署)
- IV 監査委員事務局
- V 公平委員会事務局
- VI 選挙管理委員会事務局
- VII 農業委員会事務局

第5 監査の方法

財務に関する事務の執行及び経営に係る事業の管理並びに市の事務の執行が、法令等に基づいて適正かつ効率的、合理的に行われたかを主眼に、抽出した事項を対象に関係諸帳簿及び証拠書類を審査し、関係職員から説明を聴取して監査を実施した。

第6 監査の結果

事務の執行等については、おおむね適正に処理されているものと認められた。ただし、一部の事務については、以下に示すように改善及び検討を要する事例が見受けられたので、今後、適正な事務処理に努められたい(指摘事項として記載)。指摘事項に至らない事例については、要望等として記載しており、事務執行の参考とされたい。

I 個別指摘事項等

1 まちづくり活性部

(1) 東部丘陵整備課（説明聴取日：令和元年10月10日）

① 指摘事項は、次のとおりである。

ア 備品管理について、備品台帳にある一部の備品の保管場所を把握していない状況を見受けた。

備品管理にあたっては定期的に保管状況の確認を行い、適切な管理に努められたい。

イ 所属長は、業務における時間外業務の必要性を十分把握した上で時間外勤務の事前命令を行う必要があるが、具体的な従事事務内容の申告がなされていない状況でも事前命令、承認が繰り返し行われているものを見受けた。

令和元年5月17日付け、企画管理部長通知「令和元年度 職員の健康管理対策の取り組みについて」により、時間外業務の従事事務内容について具体的明記を求めているので、適切な時間外勤務命令による手当の執行とするために、通知内容を再度、確認されたい。

ウ 起案文書について、伺文の追記部分を伺文本文にテープで貼り付けて事務処理を完了しているものを見受けた。

起案文書は保存を要する公文書であり、適切な文書管理に努められたい。

② 予算執行状況は、次表のとおりである。（令和元年7月31日現在）

<歳入>

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	執行率 (C/A)	収納率 (C/B)
円 162,670,000	円 17,460,000	円 0	% 0.0	% 0.0

[繰越明許]

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	執行率 (C/A)	収納率 (C/B)
円 224,753,000	円 85,353,000	円 0	% 0.0	% 0.0

<歳出>

事業名	予算現額 A	支出済額 B	執行率 (B/A)
	円	円	%
東部丘陵地の利用支援に係る経費	65,977,000	36,150	0.1
東部丘陵線の整備に係る経費	99,322,000	23,748	0.0
その他の経費	13,326,000	3,305,540	24.8
合計	178,625,000	3,365,438	1.9

[繰越明許]

事業名	予算現額 A	支出済額 B	執行率 (B/A)
	円	円	%
東部丘陵地の利用支援に係る経費	3,639,000	0	0.0
東部丘陵線の整備に係る経費	268,538,000	0	0.0
合計	272,177,000	0	0.0

[事故繰越]

事業名	予算現額 A	支出済額 B	執行率 (B/A)
	円	円	%
東部丘陵地の整備に係る経費	44,335,000	0	0.0
合計	44,335,000	0	0.0

- ③ 監査委員の要望及び意見は、次のとおりである。
特に要望及び意見すべき事項は見られなかった。

(2) 商工観光課（説明聴取日：令和元年10月10日）

- ① 指摘事項は、次のとおりである。
特に指摘すべき事項は見られなかった。
- ② 予算執行状況は、次表のとおりである。（令和元年7月31日現在）

<歳入>

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	執行率 (C/A)	収納率 (C/B)
円	円	円	%	%
264,657,000	258,954,052	2,174,986	0.8	0.8

<歳出>

事業名	予算現額 A	支出済額 B	執行率 (B/A)
	円	円	%
融資に係る経費	285,956,000	241,686,901	84.5
企業立地・創業の促進に係る経費	78,635,000	119,743	0.2
その他の経費	120,451,000	43,984,979	36.5
合計	485,042,000	285,791,623	58.9

- ③ 監査委員の要望及び意見は、次のとおりである。
働く女性の家使用料は、現金の取り扱いとなるため、管理について十分に注意されたい。
また、産業会館については建設から35年以上経過し、修繕や大規模改修工事が必要な状況になっているため、必要な修繕等は速やかに行い、施設の安全管理に努められたい。

(3) 農政課（説明聴取日：令和元年10月10日）

① 指摘事項は、次のとおりである。

城陽農業振興地域土地利用図について、窓口で販売されているが、在庫管理が十分になされていない状況を見受けた。

市の収入となる物品であるため、管理台帳の作成など適切な在庫管理をされたい。

② 予算執行状況は、次表のとおりである。（令和元年7月31日現在）

<歳入>

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	執行率 (C/A)	収納率 (C/B)
円 68,822,000	円 2,343,400	円 64,400	% 0.1	% 2.7

[繰越明許]

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	執行率 (C/A)	収納率 (C/B)
円 106,059,000	円 104,767,000	円 584,000	% 0.6	% 0.6

<歳出>

事業名	予算現額 A	支出済額 B	執行率 (B/A)
	円	円	%
水田農業の振興に係る経費	7,872,000	1,141,800	14.5
畜産の振興に係る経費	57,877,000	0	0.0
その他の経費	23,684,000	4,540,344	19.2
合計	89,433,000	5,682,144	6.4

[繰越明許]

事業名	予算現額 A	支出済額 B	執行率 (B/A)
	円	円	%
農業者等の復興支援に係る経費	5,946,000	876,000	14.7
畜産業者の復興支援に係る経費	106,675,000	0	0.0
合計	112,621,000	876,000	0.8

③ 監査委員の要望及び意見は、次のとおりである。

毎年、農林関連の補助金は城陽市農林業振興事業費補助金交付要綱に基づき支出されているが、一部の補助金の補助率は市長が別に定める額とされており、算定根拠を別に定めて支出されている。

補助金の交付決定にあたっては、そうした別に定める補助率の算定根拠を示すとともに、補助額が適正なのか、常に補助金の見直しという意識をもって取り組まれない。

2 都市整備部

(1) 都市政策課（説明聴取日：令和元年10月8日）

① 指摘事項は、次のとおりである。

ア 所属長は、業務における時間外業務の必要性を十分把握した上で時間外勤務の事前命令を行う必要があるが、具体的な従事事務内容の申告がなされていない状況でも事前命令、承認が繰り返し行われているものを見受けた。

令和元年5月17日付け、企画管理部長通知「令和元年度 職員の健康管理対策の取り組みについて」により、時間外業務の従事事務内容について具体的明記を求めているので、適切な時間外勤務命令による手当の執行とするために、通知内容を再度、確認されたい。

イ 起案文書について、付箋に補足の説明書きが記載され、そのまま保存されているものを見受けた。

起案文書は保存を要する公文書であり、適切な文書管理に努められたい。

② 予算執行状況は、次表のとおりである。（令和元年7月31日現在）

<歳入>

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	執行率 (C/A)	収納率 (C/B)
円 751,238,000	円 35,265,553	円 19,939,209	% 2.7	% 56.5

[繰越明許]

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	執行率 (C/A)	収納率 (C/B)
円 116,598,000	円 0	円 0	% 0.0	% 0.0

<歳出>

事業名	予算現額 A	支出済額 B	執行率 (B/A)
寺田駅周辺道路の整備に係る経費	円 372,315,000	円 43,200	% 0.0
山城青谷駅周辺道路等の整備に係る経費	310,999,000	0	0.0
その他の経費	427,615,000	18,928,038	4.4
合計	1,110,929,000	18,971,238	1.7

[繰越明許]

事業名	予算現額 A	支出済額 B	執行率 (B/A)
寺田駅周辺道路の整備に係る経費	円 102,188,000	円 29,297,700	% 28.7
山城青谷駅周辺道路等の整備に係る経費	14,590,000	0	0.0
合計	116,778,000	29,297,700	25.1

③ 監査委員の要望及び意見は、次のとおりである。

特に要望及び意見すべき事項は見られなかった。

(2) 管理課（説明聴取日：令和元年10月8日）

① 指摘事項は、次のとおりである。

ア 備品管理について、備品台帳にある一部の備品が既に廃棄処分され存在していない状況を見受けた。

速やかに備品廃棄の事務手続きを行うとともに、備品管理にあたっては定期的に保管状況の確認を行い、適切な管理に努められたい。

イ 所属長は、業務における時間外業務の必要性を十分把握した上で時間外勤務の事前命令を行う必要があるが、具体的な従事事務内容の申告がなされていない状況でも事前命令、承認が繰り返し行われているものを見受けた。

令和元年5月17日付け、企画管理部長通知「令和元年度 職員の健康管理対策の取り組みについて」により、時間外業務の従事事務内容について具体的明記を求めているので、適切な時間外勤務命令による手当の執行とするために、通知内容を再度、確認されたい。

ウ 城陽市交通安全対策協議会活動補助金関係書について、市が当協議会の事務局となっているが、市の立場で事務処理されている案件と協議会事務局の立場で事務処理されている案件が同一簿冊内に保存されている状況を見受けた。

市としての文書と協議会事務局としての文書は区別して保存し、また協議会事務局の起案文書等の文書様式についても市の様式と明確に区別するなど、適切な文書処理と管理に努められたい。

② 予算執行状況は、次表のとおりである。（令和元年7月31日現在）

<歳入>

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	執行率 (C/A)	収納率 (C/B)
円 212,785,000	円 142,870,750	円 142,799,260	% 67.1	% 99.9

[繰越明許]

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	執行率 (C/A)	収納率 (C/B)
円 2,999,000	円 0	円 0	% 0.0	% 0.0

<歳出>

事業名	予算現額 A	支出済額 B	執行率 (B/A)
道路橋りょうの管理に係る経費	円 91,033,000	円 7,550,057	% 8.3
樹木の管理に係る経費	54,550,000	178,200	0.3
その他の経費	251,622,000	20,928,450	8.3
合計	397,205,000	28,656,707	7.2

[繰越明許]

事業名	予算現額 A	支出済額 B	執行率 (B/A)
	円	円	%
橋りょうの長寿命化に係る経費	3,090,000	0	0.0
合計	3,090,000	0	0.0

③ 監査委員の要望及び意見は、次のとおりである。

城陽市中学生自転車損害賠償保険等加入促進事業補助金について、申請金額を申請者や保険会社に確認し修正されているものがあるが、その経緯や根拠が残されていないものを見受けた。

補助金交付決定後の申請者からの問い合わせへの対応も踏まえ、修正の経緯や修正金額の積算根拠を記録として残すよう取り組まれない。

(3) 土木課（説明聴取日：令和元年10月8日）

① 指摘事項は、次のとおりである。

ア 事務報告文書について、付箋に追記の事務報告が記載され、そのまま保存されているものを見受けた。

事務報告文書は保存を要する公文書であり、適切な文書管理に努められたい。

② 予算執行状況は、次表のとおりである。（令和元年7月31日現在）

<歳入>

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	執行率 (C/A)	収納率 (C/B)
円	円	円	%	%
812,808,000	7,766,400	81,600	0.0	1.1

[繰越明許]

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	執行率 (C/A)	収納率 (C/B)
円	円	円	%	%
152,295,000	7,708,000	0	0.0	0.0

<歳出>

事業名	予算現額 A	支出済額 B	執行率 (B/A)
	円	円	%
山城青谷駅周辺道路等の整備に係る経費	230,326,000	0	0.0
今池川配水区の整備に係る経費	240,015,000	2,609,000	1.1
その他の経費	437,976,000	8,219,283	1.9
合計	908,317,000	10,828,283	1.2

[繰越明許]

事業名	予算現額 A	支出済額 B	執行率 (B/A)
	円	円	%
河川の改修に係る経費	34,759,000	711,000	2.0
準用河川嫁付川の改修に係る経費	44,283,000	0	0.0
その他の経費	122,506,000	35,991,883	29.4
合計	201,548,000	36,702,883	18.2

- ③ 監査委員の要望及び意見は、次のとおりである。
特に要望及び意見すべき事項は見られなかった。

(4) 営繕課（説明聴取日：令和元年10月8日）

- ① 指摘事項は、次のとおりである。
特に指摘すべき事項は見られなかった。
- ② 予算執行状況は、次表のとおりである。（令和元年7月31日現在）

<歳出>

事業名	予算現額 A	支出済額 B	執行率 (B/A)
	円	円	%
一般管理に係る経費（職員手当等）	8,735,000	2,236,013	25.6
建築庶務に係る経費	5,795,000	1,367,483	23.6
合計	14,530,000	3,603,496	24.8

- ③ 監査委員の要望及び意見は、次のとおりである。

時間外勤務については、令和元年度から職員の超過勤務命令の上限設定（月45時間以下かつ年360時間以下）が行われているが、多くの職員が上限設定を超過して勤務している状況を見受けた。

建物の老朽化や新たな都市基盤の整備に伴い、時期的に施設の建て替え等が集中する状況はあるが、職員の健康管理面を十分考慮し、組織の課題として人員の増員など時間外勤務を抑制する方策に取り組みたい。

また、現在取り組まれている計画的な年休取得についても、職員の健康管理対策として継続して取り組みたい。

3 消防本部（説明聴取日：令和元年10月15日）

【総務課、予防課、警防課、救急課、久津川消防分署、青谷消防分署】

① 指摘事項は、次のとおりである。

ア 補助金の額の確定が供覧にて処理されているものを見受けた。

補助金の額の確定は補助金の交付額を最終的に確定する行為であることから、決裁にて処理されたい。

イ 公印使用簿が保存文書として登録されていない状況を見受けた。

公印使用簿は公印の使用履歴を記録する重要な文書であることから、保存年限を設定し適切に保存管理されたい。

② 予算執行状況は、次表のとおりである。（令和元年7月31日現在）

<歳入>

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	執行率 (C/A)	収納率 (C/B)
円 1,582,773,000	円 1,961,264	円 1,809,023	% 0.1	% 92.2

<歳出>

事業名	予算現額 A	支出済額 B	執行率 (B/A)
	円	円	%
消防団の活動に係る経費	29,493,000	10,261,474	34.8
消防本部の整備に係る経費	1,497,368,000	336,500,000	22.5
その他の経費	231,714,000	39,932,989	17.2
合計	1,758,575,000	386,694,463	22.0

③ 監査委員の要望及び意見は、次のとおりである。

簿冊については、消防署、各分署ともに整理整頓がなされ、適切な管理がなされていることを確認した。

一方で、設備簿のように1,000冊を超える簿冊が存在する状況も確認し、これらについては今後も増加していくことが考えられる。

したがって、災害発生時の迅速な活用の観点から、将来的に簿冊のデータベース化を図ることも検討されたい。

4 監査委員事務局（説明聴取日：令和元年10月15日）

① 指摘事項は、次のとおりである。

特に指摘すべき事項は見られなかった。

② 予算執行状況は、次表のとおりである。（令和元年7月31日現在）

<歳出>

事業名	予算現額 A	支出済額 B	執行率 (B/A)
	円	円	%
一般管理に係る経費(時間外勤務手当)	215,000	19,852	9.2
監査等業務に係る経費	2,818,000	665,992	23.6
合計	3,033,000	685,844	22.6

③ 監査委員の要望及び意見は、次のとおりである。

特に要望及び意見すべき事項は見られなかった。

5 公平委員会事務局（説明聴取日：令和元年10月15日）

① 指摘事項は、次のとおりである。

特に指摘すべき事項は見られなかった。

② 予算執行状況は、次表のとおりである。（令和元年7月31日現在）

<歳出>

事業名	予算現額 A	支出済額 B	執行率 (B/A)
	円	円	%
一般管理に係る経費(時間外勤務手当)	50,000	0	0.0
公平委員会業務に係る経費	1,059,000	378,610	35.8
合計	1,109,000	378,610	34.1

③ 監査委員の要望及び意見は、次のとおりである。

特に要望及び意見すべき事項は見られなかった。

6 選挙管理委員会事務局（説明聴取日：令和元年10月10日）

① 指摘事項は、次のとおりである。

ア 備品管理について、備品台帳にある一部の備品が既に廃棄処分され存在していない状況を見受けた。

速やかに備品廃棄の事務手続きを行うとともに、備品管理にあたっては定期的に保管状況の確認を行い、適切な管理に努められたい。

イ 会議録について、一部の会議で未作成の状況を見受けた。

会議録は協議や意思決定の過程及び結果を記録するものであることから、遺漏なく、速やかに作成するよう努められたい。

② 予算執行状況は、次表のとおりである。（令和元年7月31日現在）

<歳入>

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	執行率 (C/A)	収納率 (C/B)
円 35,783,000	円 31,665,388	円 31,565,388	%	%
			88.2	99.7

<歳出>

事業名	予算現額 A	支出済額 B	執行率 (B/A)
	円	円	%
市議会議員一般選挙に係る経費	36,503,000	34,976,715	95.8
参議院議員通常選挙に係る経費	22,387,000	5,928,365	26.5
その他の経費	17,558,000	14,141,196	80.5
合計	76,448,000	55,046,276	72.0

③ 監査委員の要望及び意見は、次のとおりである。

特に要望及び意見すべき事項は見られなかった。

7 農業委員会事務局（説明聴取日：令和元年10月15日）

① 指摘事項は、次のとおりである。

公印使用簿が保存文書として登録されていない状況を見受けた。

公印使用簿は公印の使用履歴を記録する重要な文書であることから、保存年限を設定し適切に保存管理されたい。

② 予算執行状況は、次表のとおりである。（令和元年7月31日現在）

<歳入>

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	執行率 (C/A)	収納率 (C/B)
円 4,036,000	円 1,550,600	円 297,600	% 7.4	% 19.2

<歳出>

事業名	予算現額 A	支出済額 B	執行率 (B/A)
農業委員会業務に係る経費	円 8,762,000	円 2,573,200	% 29.4
機構集積の支援に係る経費	2,152,000	12,141	0.6
その他の経費	499,000	104,940	21.0
合計	11,413,000	2,690,281	23.6

③ 監査委員の要望及び意見は、次のとおりである。

特に要望及び意見すべき事項は見られなかった。

II 定期監査を終えて（監査委員の要望及び意見）

1 備品の管理について、庁舎の耐震補強等整備に伴う執務室の移転時に、不用な備品を廃棄処分したものの、除却等に係る必要な事務手続きを行っていない事案を見受けた。

不用となった備品については、適宜、除却等を行い、必要な事務手続きを行われたい。

加えて、備品が市の大事な資産であることを再認識し、備品の定期的な確認等、適切な管理に努められたい。

2 公文書の作成や保管については、記載誤りや押印漏れ、文書の綴り先の誤りなどが散見されており、引き続き細心の注意を払い、文書の作成、また確認にあたられたい。

特に、個人情報の取り扱いについて、公文書に含まれる個人情報の取り扱いが適切かどうか、複数の視点からの確認と検証に努められるよう、あらためて慎重な取り扱いを求めたい。

3 補助金については、毎年支出されているものも少なくない中で、支出にあたってはその算定根拠を明らかにするとともに、補助額が適正なのか、常に補助金の見直しという意識をもって取り組まれたい。

4 時間外勤務については、令和元年度から職員の超過勤務命令の上限設定（月45時間以下かつ年360時間以下）が行われているが、上限設定を超過して勤務している状況を見受けた。

今回の定期監査は、新たな都市基盤整備や開発が進む本市において、まちづくりを中心的に担う部局を主な対象とし、時期的に業務が集中する状況はあるが、所属長は、職員の健康管理面を十分考慮し、時間外勤務の抑制、また平準化に努められたい。

5 予算執行については、台風等の自然災害による影響、また他の事業の進捗状況による影響等で前年度から今年度へ多くの繰越事業が生じているが、事業が確実に完了できるよう適切な執行管理に努められたい。

6 最後に、平成29年度から今年度までの間の定期監査において、各課の業務執行上で考えられるリスクとその対応を確認してきたが、各課においては業務を執行する上でその内部にあるリスクについて日頃から組織の中で情報共有に努めるとともに、その存在を常に意識し業務に従事されたい。